

ミシミレドレツレレ、シッシラソドッドド、フィフィ〜イ。ケペル先生今晚は。  
やあ今晚は、元気かね？ 何でも考えかんでも知って、何でもかんでもやってみよう。さて今日は…。

日曜のお昼といえば、昭和30年代前半は「ミゼット」でお馴染みの「ダイハツコメディやりくりアパート（TBSでは1958～1960）」とその後続「スチャラカ社員（TBSでは1961～1967）」だった。

しかし「大正テレビ寄席（NETでは1963～1978／12:00～12:45）」が放映されると、こちらを見てから「オリエンタルがっちり買いまショウ（TBSでは1963～1975／12:45～13:15）」にチャンネルを戻すようになった。司会は夢路いとし・喜味こいし。大阪市無形文化財に指定され「上方漫才の宝」と称されている。自作ネタやアドリブも取り入れた紳士的な漫才は東京の獅子てんや・瀬戸わんやとともに昭和漫才の双璧と目される。

番組には3組の一般視聴者が出演して、1万円、3万円、5万円（後に3万円、5万円、7万円、さらに5万円、7万円、10万円）の3コースに分かれて買い物をする。2分以内に4点以上買い上げて各コースの上限金額より3,000円（後に4,000円）以内に収めれば商品を獲得できる。

最初はコース分けのゲーム。喜味こいしのダミ声の歌に続く「1万円、3万円、5万円運命の分かれ道。豆がころころころりんこ、指でつまめばよいものを、箸でつまめと殺生な、豆をつまんでつまんでつまんでつまんで、あっちのざるに入れるゲーム始め!」といった毎週変わる夢路いとしによる顔芸と早口言葉が一番の見所。次に1万円コースから順に買い物が始まり「伺ってみましよう。1万円コースお買い上げ、いかがでしたか?」で合否が知らされる。

最後はオリエンタルカレーを食べる生CMで、喜味こいしが「ではまた来週も、がっちり買いまショウ」と言うと、夢路いとしが「違う違う。ではまた来週も」と言い、2人で「がっちり買いまショウ」と言って終了する。

オリエンタルカレーのCMソングは、名古屋出身のカントリー歌手山路智子（トミ藤山）の「オリエンタルカレー」が印象的。

♪懐かしい懐かし〜いあのリーズム エキゾチックなあの調べ オリエンタルの謎を秘め  
香るカレーよ夢の味 ああ夢のひーととき即席ーカレー 君知るや君知るーやオリエンタルカレー♪  
最後の「エンタル」の部分のメロディは絶品。

横須賀出身なのに名古屋弁で脱線トリオの南利明の「オリエンタルスナックカレー」も名CM。

♪めっちゃめっちゃうみゃーでいかんわ オリエンタルのスナックカレー たった3分ぬくためるだけ  
肉や野菜がいっぱいーひゃーとるでよお みんなウツハウツハウツハウツハ喜ぶよ オリエンタルス  
ナックカレー ハヤシもあるでよお♪

ついでにそのパロディ版の「赤城のカレーアイス」も最高。

♪めっちゃめっちゃうみゃーでだちかんがや 赤城のカレーヤース カレーの形したアイスだぎゃあ  
肉も野菜もそっくりだでよ みんなスックスックスックスック喜ぶんや 赤城のカレーアイス ハヤシは  
ありゃせんぞー♪

この番組の後は、若井はんじけんじの「象印ダイビングクイズ（NETでは1964～1974）」や客席座敷時代の新宿末廣亭から生中継の「日曜演芸会（NETでは1961～1975）」の面白くない柳家小せんらによるお笑い七福神の末廣珍芸シリーズなどが続き、NETからテレビ朝日になってからの「新婚さんいらっしゃい」や「パネルクイズ アタック25」が放映されるまで日曜の定番となっていた。

以上

